

高教組障害児学校部学習会

学校教育と「医療的ケア」について考える

—医療との連携、そして教師の役割はどうあればいいか—

日時：6月9日(土)10:00~12:00

場所：フォレスト仙台4F会議室

(地下鉄北四番丁駅下車徒歩7分)

講師：下川和洋氏

入場無料

(東京都立八王子東養護学校教諭)



【講師紹介】

初任地である村山養護学校に赴任以来、重い障害のある児童生徒たちの教育に携わる。その後、訪問学級の担任をする中で、医療的ケアの問題に深くかかわることになる。東京都で臨床研修を受けた教師が医療的ケアにかかわる「救急体制整備事業」発足にさきがけ、村山養護学校がモデル校に指定され、校内委員を歴任。2002年東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程（障害児教育専攻）修了。修士論文「医療的ケア必要児の教育の在り方についての一研究」

医療的ケアや重度障害児教育に関する論文・著作多数。全国で講演に引っ張りだこの先生です。



宮城県教育委員会は、訪問ステーションからの看護師派遣事業と並行して、「医療的ケアモデル事業」として行われてきた「養護教諭による部分的実施」をやめ、今後「担任の教員が医療的管理の下で、医療的ケアを実施していく方向性を探っていく」こととし、今年度古川養護学校と船岡養護学校をモデル校として指定しました。宮城県でも、教員が「医療的ケア」に直接関わらなければならない状況が生まれようとしています。

今回、東京から第一線で活躍する下川和洋先生をおまねきし、学習会を開催することにしました。そもそも「医療的ケア」とは何なのか。教育における「医療的ケア」の意味をどうとらえたらいいのか。この機会に皆さんと一緒に考えます。

※ 会場となる会議室は、高教組書記局の並びになります。医療的ケア等で場所が必要となる場合、高教組会議室を利用することが可能です。

問い合わせ先 宮城県高等学校教職員組合障害児学校部 022-234-1335